
パンドラの通知

エデンの守護者

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

パンドラの通知

【Nコード】

N9024Y

【作者名】

エデンの守護者

【あらすじ】

主人公に届いた、一通のメール。

それは、自分の人生を変えてしまうようなものだった。

プロローグ

この前、好きだった女子に振られた。

「ほかに好きな人がいる」と「友達でいよう」と。

そんなことを言われている自分が惨めに思えた。

優しさや同情は俺にとってつらいものだった。

すべての人間が自分を哀れんでいるように思えた。

生きているのが嫌になった。

死んだら彼女も振り向いてくれるかもしれない。

そんな幻想にとられるようになった。

『ピピピ、ピピピ』

電源を落としていたはずの携帯が部屋に鳴り響いた。

不信感を抱きながらも俺はメール内容を目で追っていった。

『アナタハコノセカイヲコワシタイデスカ』

「なんだこれ？ 新手のチェーンメールか？」

あほな内容に思わず笑ってしまふ。

すると同じアドレスからもう一件きた。

『ジンセイハヤリナオセナイ。』

ダカラワタシタチトセカイをコワシマシヨウ。

モシソノキガアルナラバメールヲヘンシンシテクダサイ。』

詐欺のにおいがプンプンする内容。

もう、笑うしかない俺。

今の状況に変化を期待していた俺には、このメールは

妙に魅力的で、つい返信をしてしまった。
後が続く、運命のメールを。
死へと導く、パンドラの通知を。

幸せなとき

あのメールが着てから1ヶ月後の今日、また同じアドレスからメールがきた。

内容は、ある場所に来いといわれた。

その場所は、翔閃しょうせん高校俺おれの行っている学校だ。

しかし俺はあのメール以降、学校に行っていない。つまり、引きこもり。

告白した彼女とは同じクラスで隣の席、当然嫌でも学校に行けば顔を合わせる。

『ピュピュ、ピュピュ』

いつものアドレス、また連絡が来た。

『カキワスレテイマシタガ、ニチジハアスノトウコウジカンマデニキテクダサイ。』

コナカッタバアイ、シヲアタエマス。』

俺の思いを踏みにじるような内容。

こいつは俺を監視しているのかと、疑いたくなってくる。

『プルルルル、プルルルル』

今度は電話だ。

俺にかけてくるやつなんてほとんどいない。

つまりは、変なメールの主である可能性が高いということ。

俺は、『ゴクリ』という音がでるぐらいに緊張しながら電話にでた。

「あ、あの。美鏡くんのけいたいでしょうか？」

女性の声？いや、PCで変換してるのかもしれない。

「そうだけど、あんた誰？」

俺は少しドスの聞いた声を出すと、声の主は驚いている声を出していた。

「え、その、あの、私だけどわからない？」

となりの席の宮岸。みなぎしゆうひ宮岸優陽です。」

「宮岸?!あ、ごめん。知らない番号だったから。

つい、脅しちゃった。」

「ううん、いいの全然。勝手に電話した私が悪いし。」

「で、なんで宮岸がおれの番号を？」

「氷室くんに教えてもらった。」

氷室のやつ!!・・・いや今回は逆に礼を言っとこう。

なんせ、宮岸の番号を手に入れたし。

つて、ふられたんだっけ俺

「よかった。元気そうだなによりだよ。明日は来れそう?」

「ああ、もちろん。」

つて、言っちゃたよ俺。

明日学校行くのかい!

「じゃ、また明日ね。」

「お、おう。明日。」

俺の人生の何かがいろいろ壊れた日だった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9024y/>

パンドラの通知

2011年12月5日00時56分発行